

# 新年のご挨拶



町長 鶴田忠良

新年明けましておめでとございます。

平成23年の新春を健やかに迎えられた8,179名の上毛町の皆様に、謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年、合併5周年を迎え記念行事に本町出身の陸上幕僚長火箱芳文陸将に「安全保障と陸上自衛隊」と題して講演をいただき、盛会で意義深いものでありました。

改めて上毛町を振り返りますと、合併の基本である旧両村の一体化と発展をめざす新しい町づくりは、総合計画並びに行政改革大綱に基づく行政の推進と皆様のご協力により、新町の根幹平準化は十分構築できたと確信します。平成19年の総務大臣自治功労賞授賞は、町政への高い評価であり、町づくりに誤りはなかったと自信を深めた次第でありました。町議会議員をはじめ、地域の皆様に深く感謝申し上げます。

さて、国の内外をみますと、世界は、年頭に願った平和や豊かさは、言葉に出すことさえ憚る思いの数多くの深刻な事態が報じられた一年でありました。

様々な国際会議があり、論議は重ねられても結論は具体性に乏しく先送りとなり、日本が主催国となり莫大な経

費と人員を動員したアジア太平洋経済協力会議もその例に漏れず、また、最後の会議地球温暖化防止の京都議定書(平成13年決定)の取り扱いきえも本年に持ち越しとなり、各国の国益優先さらには国力の差が生んだ結論でありました。

しかし、絶えることのない紛争、貧困、飢餓に喘ぐ人々のため、危険を承知で救援活動を行うボランティアの居る世界も在ることは、一時とはいえ気の休まる思いのする一年でもありません。

ジョンレノンの「イマジン」結びの言葉「いつか君たちも一緒にあって、世界は一つになってほしい」が響きます。

「I hope someday you'll join us and the world will be as one.」

我が国であります、何と云っても60億kmを7年かけて無事生還した「ハヤブサ」が誇りであります。世界の頂点に立つ日本の科学と技術を世界に証明し、誰もが拍手喝采した快挙でありました。

また、鈴木章、根岸英一両先生のノーベル化学賞受賞も日本人の素晴らしい頭脳と研究の成果を全世界に披瀝した榮譽とご功績でありました。

これに反し、昨年度政治経済ともに国民の期待を裏切った年はなかったと思えます。現政権の15ヵ月、国を変え政治を変える、国民に期待させたマニフェストは、時間の経過とともに公約性は薄れて実現は困難となり、「日米対等」以来の政権主権の軽率発言、あの大国に気を使う拙劣外交等を連日見聞きいたしますと、国民の不信は募り支持率は大幅な低下と変わりました。

景気回復や雇用確保等の経済課題は

国会の真剣な論議にはならず、経済発展という言葉はあっても、前提となる国の財政は不透明であり、財源捻出の「事業仕分け」は突出したけれども効果は期待程ではなく、政治主導はいつの間にか批判した官僚に頼る以外になかったとも評されました。

日本の経済は、不況の中で輝く中小企業の底力があり、民間の努力によってかろうじて往年の体面を保ったのではと考えます。前述のハヤブサや両先生の快挙功績がなければ、多発した不

快な事件とともに凋落したと写る日本の姿が、残念ではありますが、国内外に報じられたはずであります。希望的としても、今年こそ政治に汚名返上を願い、とりわけ、日本を真剣に考えてくれる政治家諸氏に命運を託したいと思う次第であります。

上毛町であります、平成22年度の施策、行政改革、産業の振興、少子高齢化対策等の事業は、地域の皆様、さらには関係者のご協力ご努力により計画通り推進できたと考えます。

重要事業の概要は次の通りであります。まず懸案の行政改革に基づく「たいへい苑」さんか荘診療所は一括して社会福祉法人「敬愛会」へ移譲が成立し、借入金残額8千万円の償還が完了いたします。異論はありましたが、投資額に相当する6億円余りが町に返納されること等を勘案いたしますと適切な処理であったと考えます。

財政では、2億5千万円を基金に積立し、起債残高と基金総額の差が縮小して、健全性が高まりました。他の主たる事業につきましては、総務費で東上小学校跡地の企業誘致、旧

築上東高校跡地の購入等。民生費で、私立保育所補助等。衛生費で、太陽光発電・合併処理浄化槽設置補助等。農林水産費で、地籍調査、荒廃森林再生、鳥獣対策等。土木費で、鳴水橋補修補強、水道事業基本計画策定等。教育費で、築上東中学校体育館改築等。

また、観光振興のため、東上地域滝周辺整備、ほたるの里遊歩道防護柵設置、松尾山駐車場及び道路整備。地域づくり活動(29団体)や上毛祭実行委員会助成等も行い成果の多い事業展開であったと考えます。

さて、本年であります、新年度は最重要施策を少子高齢化対策とし、産業の振興や行政改革は引き続き重要施策の柱として町づくりに努力する所存であります。

概要は、少子高齢化対策では、三世帯家族の支援、高齢者に対応する福祉及び後期高齢者居住地域対策等。産業振興では、農業に対する国県の施策と独自施策の検討、鳥獣対策協議会設置、企業誘致等。行政改革では、人口構成と引き合わせ高年齢化率上昇対策、諸事業と人件費削減の検討と課題対策等でありました。

具体的事業は、国の地方自治体財政措置を勘案して策定する予算案とともに広報4月号に詳細を説明申しあげたいとも存じます。

最後に、この一年の皆様のご健勝、ご多幸ご活躍を心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

# 上毛町議会議員一般選挙

任期満了に伴う上毛町議会議員一般選挙が行われます。必ず投票に行きましょう。

## ■ 選挙期日(投票日)及び告示日

- 選挙期日 **2月6日(日)**
- 告示日 **2月1日(火)**
- 投票時間 **7:00~20:00**

## ■ 投票できる人

次の1及び2の要件を満たし、本町の住民基本台帳に引き続き3ヶ月以上登録されている人

1. 住所要件 平成22年10月31日までに本町に転入届を提出した人
2. 年齢要件 平成3年2月7日までに生まれた人

## ■ 投票場所

- 第1投票所 南吉富小学校講堂
- 第2投票所 西吉富コミュニティセンター
- 第3投票所 たいへいの里
- 第4投票所 唐原コミュニティセンター

## ■ 投票所入場券

選挙期日の告示日(2月1日)までに郵送します。

- 問い合わせ先 上毛町選挙管理委員会(役場総務課内) TEL 72-3111(内線113)

## ■ 期日前投票

(投票日前に選挙人名簿登録地で行う投票) 投票日に仕事、レジャー、買い物等で投票所に行けない場合は期日前投票を行うことができます。

- ・期日 2月2日(水)~5日(土)
- ・時間 8:30~20:00
- ・場所 上毛町役場2階 第1会議室
- ・その他 投票の際は、入場券を持参してください。

※不在者投票を行うことができる指定を受けている病院・施設等に入院、入所している方は、その病院・施設等で不在者投票を行うことができます。投票を行いたい方は、病院・施設等に申し出てください。

## 立候補の要件等

### ◎ 立候補できる人

1. 日本国民であること
2. 年齢満25歳以上であること(年齢は、選挙の期日において算定)
3. 当該選挙の選挙権を有すること

### ◎ 選挙すべき議員の数

12人

### ◎ 立候補者受付日時及び場所

- 日時 2月1日(火) 8:30~17:00
- 場所 役場2階 大会議室

### ◎ 立候補予定者説明会

- 日時 1月17日(月) 10:00
- 場所 役場2階 大会議室

新成人のみなさんおめでとうございます!

# 20歳から国民年金

日本に住む20歳から60歳未満のすべての人は国民年金に加入し、保険料を納めることになっています。国民年金は、老後の生活保障だけでなく、万が一、病気やケガで障害が残ったときや、一家の働き手が亡くなったときなど、あなたやあなたの家族を守ってくれます。

ただし、加入の届出や保険料の納め忘れがあると年金が受けられないことがありますので、「あの時に…」と後悔する前に、国民年金に加入しましょう。

加入の手続きは、役場住民課、大平支所のほか、年金事務所にお尋ねください。(20歳前に就職して厚生年金等に加入の方は、加入手続きは不要です。)

なお、学生の方や、収入が少なく保険料の納付が困難な方の場合、「学生納付特例」や「若年者納付猶予」など、保険料の支払いを猶予する制度がありますので、加入手続きと併せて申請してください。

- 問い合わせ先 住民課 住民福祉係 TEL 72-3111(内線143)